

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

おひさま幼稚園

1. 本園の教育目標

「強く・明るく・正しく」をモットーとし、健やかな体、大らかで明るい心、正しくものを見る目を育てる教育を目標としている。

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

「ぼくもわたしもみんなも大切にしようー元気なあいさつ、明るい笑顔、思いやりの心ー」を目標に掲げ、子どもたちの主体性を高める保育を目指す。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
保育のあり方	A	指導計画を作成し、新しい生活様式を取り入れながら、保育を実施することができた。子どもの自主性を重視し、一人ひとりに対して濃やかに関わることができた。
教師としての資質や保育の質の向上	A	リモート研修会に積極的に参加し、職員間で習得したことの認識を深め、保育活動に取り入れた。毎日朝礼や終礼を行うことで、職員一人ひとりが全学年の子どもの状況を把握し、対応することができた。
保護者への対応	A	園だより、クラスだよりなどで園の活動や子どもの様子を伝え、個人面談を12月に実施している。日常的には、連絡帳や電話、送迎時などで密に連絡を取り合い、対応している。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
A	年齢別に綿密な指導計画を作成し、子どもたちが自主的、主体的に活動できるように配慮した。3、4、5歳児の各発達に合わせた充実した活動を今後も考えていきたい。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
特別支援	個別指導計画を作成し、関係機関、家庭との連携を取り、一人ひとりに合ったサポートを柔軟に実施していく。
安全対策に関する理解	安全管理、危機管理を徹底し、感染予防対策の継続、また、地震、自然災害、不審者対策等、様々な状況を想定した訓練を実施する。
異年齢保育の実施	異年齢活動を増やしていく。(あそび、制作活動、行事など)

6. 学校関係者評価委員会の評価

園の教育目標である「強く、明るく、正しく」を柱に愛情を持って、子どもたちを正しく導く教育活動を行っている。園の特色である「自分の力で歩いて登園する」ということも自力で歩いて欲しいという親の気持ちとマッチしており、子どもたちの成長につながっていると思う。また、上学年の子どもが下学年の子どもの手をつないで登降園していることも異年齢活動の一つになっていると思う。ケガや紛失物など小さな事でも電話で連絡があるので安心できる。送迎の際に先生と直接顔を合わせるので相談がしやすい。月に1回は連絡帳に園での様子や取り組みなどを書いてくれるので分かりやすい。作品展が子どもたちの個性を重視してくれて特にとても良かった。コロナ禍の制約の中で工夫して保育や様々な行事をとり行ったことは素晴らしいと思う。子どもたちは行動制限のストレスを感じずに過ごせたと思う。

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

委員会実施日

令和 5 年 3 月 9 日